

報道関係者各位

令和7年2月14日

【照会先】

新潟労働局雇用環境・均等室

雇用環境改善・均等推進監理官 渡邊 稔

室長 補佐

関口 久志

TEL: 025-288-3511

くるみん認定企業

「マコー 株式会社」(長岡市)

「医療法人社団 内野整形外科クリニック」(新潟市)

「有限会社 菅原電気工事」(胎内市)を認定！！

新潟労働局(局長 千葉 茂雄)では、このたび、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」)に基づく認定(くるみん認定)企業として、マコー 株式会社(代表取締役社長 浅井 嘉久 氏)、医療法人社団 内野整形外科クリニック(理事長 佐野 博繁 氏)、有限会社 菅原電気工事(代表取締役 菅原 卓也 氏)を認定いたしました。

くるみん認定は、次世代法に基づき、策定した行動計画を実施し、その計画目標を達成する等、一定の要件を満たす場合に、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定するものです。認定を受けた企業は、認定マーク(下段に表示)を商品、広告、求人広告などに付け、子育てサポート企業であることをPRできます。



認定マーク

(愛称: くるみん)

星の数が認定回数を表示します

<参考資料>

資料No.1 マコー 株式会社の取組概要

資料No.2 医療法人社団 内野整形外科クリニックの取組概要

資料No.3 有限会社 菅原電気工事の取組概要

資料No.4 認定基準(次世代育成支援対策推進法における認定基準)

資料No.5 くるみん認定企業一覧

マコー株式会社（長岡市）

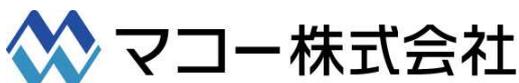
- 代表者 代表取締役社長 浅井 嘉久
- 事業内容 生産用機械器具製造業
- 労働者数 135人（男性119人、女性16人）



認定企業における次世代育成支援の取組の概要は次のとおりです。

1. 子の看護休暇と介護休暇を無給休暇から有給休暇扱いとし、且つ現在「小学校就学の始期に達するまでの子」を養育する労働者を対象としている上記休暇を「小学校3年生修了までの子」を養育する労働者に拡大し、時間単位で休暇が取得できるよう目標を定め、制度の検討等を行った結果、令和6年8月21日から上記制度を導入するとともに、導入後についても時間単位での休暇取得を可能としました。
2. 「3歳未満の子」を養育する労働者を対象としている所定外労働の制限・育児短時間勤務制度と「小学校就学の始期に達するまでの子」を養育する労働者を対象としている時間外労働の制限・深夜業の制限を「小学校3年生修了までの子」を養育する労働者に拡大し、介護含め、ワークライフバランスを支援する柔軟な働き方の制度を別途導入することを目標に定め、受入方法や体制について検討した結果、各制度の対象者を上記のとおり拡大するとともに、令和6年8月21日から時差出勤制度を導入しました。
3. 家族と過ごす時間を確保できるようにするため、就業カレンダーの見直しことを目標に定め、社員へのアンケート調査の検討や、就業カレンダーの見直し・検討を行い、令和5年1月より年間休日を5日間増加しました。
4. 計画期間内において配偶者が出産した男性労働者に占める育児休業等をした男性労働者の割合が38%となりました。
5. 計画期間内において出産した女性労働者に占める育児休業等をした女性労働者の割合が100%となりました。

<事業主からのコメント>



マコーは、仕事のやりがいとプライベートの充実、どちらも大切にできる職場を目指しています。

挑戦するチャンスがあり、互いに意見を交わせる環境の中で、一人ひとりが成長できる会社でありたい。

社員が誇りを持って働ける環境づくりを、これからも進めていきます！

医療法人社団 内野整形外科クリニック（新潟市）

- 代表者 理事長 佐野 博繁
- 事業内容 医業
- 労働者数 15人（男性5人、女性10人）



認定企業における次世代育成支援の取組の概要は次のとおりです。

1. 計画期間内に、育児休業の取得率を男性 50%以上、女性 80%以上とすることを目標とし、休業者の業務カバー体制の検討（代替要員の確保、業務体制の見直し等）を実施し、また、育児休業取得希望者からの要望があった際には、上記体制について具体的に内容を説明した結果、計画期間内に男性、女性ともに育児休業取得率が 100%となり、目標を達成しました。
2. 3歳から小学校就学前の子を養育する社員について、所定外労働の制限に関する制度を導入することを目標とし、社員のニーズの把握・検討を行った結果、令和6年3月26日に育児・介護休業規程を変更し、目標を達成しました。
3. 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置として、ボランティア休暇（有給）を導入しました。

<事業主からのコメント>



当院では、すべてのスタッフが楽しくやりがいをもって仕事ができる職場づくりに取り組んでいます。

今後も、時代の変化に柔軟に対応しつつ、すべてのスタッフにとって働きやすい職場づくりを進めていきます。

有限会社 菅原電気工事（胎内市）

- 代表者 代表取締役 菅原 卓也
- 事業内容 電気工事業
- 労働者数 17人（男性13人、女性4人）



認定企業における次世代育成支援の取組の概要は次のとおりです。

1. 所定外労働削減のための措置の実施を目標とし、一賃金計算期間において、少なくとも5日は時間外労働をさせないように心掛け、令和4年11月より毎週火・木曜日をノー残業デーとして設定しました。
2. 年次有給休暇について、計画期間終了事業年度の年間平均取得率を50%以上とすることを目標とし、社員全員の年次有給休暇の取得状況が分かりやすいように、社内に有給休暇日数表の掲示や、年次有給休暇の取得日数が少ない社員へ働きかけを行った結果、計画期間終了事業年度の年間平均取得率が78%となり、目標を達成しました。
3. 計画期間内および計画期間開始前3年以内において配偶者が出産した男性労働者に占める育児休業等をした男性労働者の割合が100%となりました。
4. 計画期間内および計画期間開始前3年以内において出産した女性労働者に占める育児休業等をした女性労働者の割合が100%となりました。
5. 育児短時間勤務を小学校就学の始期に達するまでの子を養育する労働者に認め、法を上回る規程を整備しています。

<事業主からのコメント>



当社では、育休など様々な福利厚生を活用してワークライフバランスを実現することで、社員とその家族が仕事もプライベートも充実した毎日を過ごすことができ、誇りを持って仕事に取り組めるよう努めています。いつも人の立場で考える“思いやり”の気持ちを大切に、これからも地域社会の発展と共に成長してゆける企業を目指し引き続き努力を続けて参ります。

くるみん認定基準



1. 雇用環境の整備について、行動計画策定指針に照らし適切な行動計画を策定したこと。
2. 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること。
3. 策定した行動計画を実施し、計画に定めた目標を達成したこと。
4. 策定・変更した行動計画について、公表および労働者への周知を適切に行っていること。
5. 計画期間における、男性労働者のうち育児休業等を取得した者の割合が10%以上であり、当該割合を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。または計画期間における、男性労働者の育児休業等取得率および企業独自の育児を目的とした休暇制度利用率が、合わせて20%以上であり、当該割合を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること、かつ、育児休業等を取得した者が1人以上いること。

<労働者が300人以下の企業の特例>

上記5. を満たさない場合でも、①～④のいずれかに該当すれば基準を満たす。

- ① 計画期間内に、子の看護休暇を取得した男性労働者がいること（1歳に満たない子のために利用した場合を除く）、かつ当該男性労働者の数を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。
 - ② 計画期間内に、中学校卒業前の子を育てる労働者に対する所定労働時間の短縮措置を利用した男性労働者がいること、かつ、当該男性労働者の数を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。
 - ③ 計画期間とその開始前一定期間（最長3年間）を合わせて計算したときに、男性の育児休業等取得率が10%以上であり、当該割合を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。
 - ④ 計画期間において、小学校就学前の子を養育する男性労働者がいない場合、中学校卒業前の子または小学校就学前の孫について、企業独自の育児を目的とした休暇制度を利用した男性労働者がいること、かつ、当該男性労働者の数を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。
6. 計画期間における、女性労働者の育児休業等取得率が、75%以上であり、当該割合を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していること。

<労働者が300人以下の企業の特例>

上記6. を満たさない場合でも、計画期間とその開始前の一定期間（最長3年間）を合わせて計算したときに、女性の育児休業等取得率が75%以上であり、当該割合を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」で公表していれば基準を満たす。

7. 3歳から小学校就学前の子を育てる労働者について、「育児休業に関する制度、所定外労働の制限に関する制度、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置に準ずる制度」を講じていること。
8. 計画期間の終了日の属する事業年度において、フルタイムの労働者等の法定時間外・法定休日労働時間の平均が各月45時間未満であり、かつ月平均の法定時間外労働60時間以上の労働者がいないこと。
9. 次の①～③のいずれかの措置について、成果に関する具体的な目標を定めて実施していること。
 - ① 所定外労働の削減のための措置
 - ② 年次有給休暇の取得の促進のための措置
 - ③ 短時間正社員制度、在宅勤務、テレワークその他働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置
10. 法および法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと。

これまでの認定企業一覧（令和7年2月6日現在）

○ プラチナくるみん認定企業

	企業名	所在地	認定年	プラス
1	一正蒲鉾株式会社	新潟市	2015年	
2	株式会社第四銀行（現 第四北越銀行）	新潟市	2018年	2023年
3	昭栄印刷株式会社	新発田市	2020年	
4	株式会社サカタ製作所	長岡市	2020年	
5	株式会社大光銀行	長岡市	2020年	
6	株式会社ブルボン	柏崎市	2022年	2024年
7	小柳建設株式会社	三条市	2022年	2024年
8	亀田製菓株式会社	新潟市	2024年	
9	藤田金属株式会社	新潟市	2024年	
10	社会福祉法人新潟さくら会（分水いちごの実）	新潟市	2024年	
11	株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟	新潟市	2025年	

○ くるみん認定企業

	企業名	所在地	認定年	プラス
1	一正蒲鉾株式会社	新潟市	2007年、2010年、2013年	
2	株式会社第一印刷所	新潟市	2008年、2013年、2019年	
3	株式会社第四銀行（現 第四北越銀行）	新潟市	2008年、2012年	
4	株式会社博進堂	新潟市	2008年、2012年、2013年	
5	株式会社大光銀行	長岡市	2010年、2015年	
6	株式会社ジェイマックソフト	長岡市	2010年	
7	国立大学法人新潟大学	新潟市	2011年	
8	オン・セミコンダクター新潟株式会社	小千谷市	2012年	
9	株式会社リポーン	上越市	2012年、2014年	
10	星野電気株式会社	新潟市	2013年	
11	新潟電子工業株式会社	新潟市	2013年、2017年、2022年	
12	株式会社コロナ	三条市	2013年、2017年	
13	株式会社キタック	新潟市	2013年、2019年	
14	株式会社ナルス	上越市	2013年	
15	愛宕商事株式会社	新潟市	2013年	
16	協栄信用組合	燕市	2013年	
17	旭カーボン株式会社	新潟市	2014年	
18	新潟県信用農業協同組合連合会	新潟市	2014年、2017年、2020年、2023年	
19	医療法人恵生会	新潟市	2014年、2019年	
20	昭栄印刷株式会社	新発田市	2014年、2016年	

21	株式会社メビウス	新潟市	2014年	
22	株式会社オスポック	十日町市	2015年	
23	医療法人愛広会	新潟市	2015年	
24	西蒲原土地改良区	新潟市	2015年	
25	株式会社ソリマチ技研	長岡市	2016年	
26	株式会社マルサン	新潟市	2016年	
27	株式会社エム・エスオフィス	長岡市	2016年	
28	株式会社弘新機工	新発田市	2016年、2019年、2021年	
29	株式会社ブルボン	柏崎市	2017年	
30	株式会社原信	長岡市	2017年	
31	学校法人新潟総合学院	新潟市	2017年	
32	亀田製菓株式会社	新潟市	2018年	
33	公益財団法人 新潟市開発公社	新潟市	2018年、2023年	
34	株式会社サカタ製作所	長岡市	2018年	
35	株式会社 I N P E X パイプライン	柏崎市	2018年、2021年、2024年	
36	藤田金属株式会社	新潟市	2018年	
37	株式会社アクアシガータ	新潟市	2018年	
38	医療法人社団 晴和会	新潟市	2018年	
39	株式会社きものブレイン	十日町市	2019年	
40	株式会社北越ケース	新潟市	2019年	
41	株式会社インプレシヴ	新潟市	2019年、2021年	
42	株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟	新潟市	2019年	
43	株式会社安全給食サービス	長岡市	2020年	
44	株式会社 J-COLOR (美容しょうへいの店)	長岡市	2020年	
45	社会福祉法人新潟さくら会 (分水いちごの実)	新潟市	2020年	
46	株式会社社会津屋	村上市	2020年	
47	小柳建設株式会社	三条市	2020年	
48	日本ハム惣菜株式会社	三条市	2020年	
49	株式会社吉田建設	新潟市	2021年	
50	株式会社山市	新潟市	2021年	
51	株式会社ホンダ北越販売	新潟市	2021年	
52	株式会社小野組	胎内市	2021年	
53	株式会社ハセテック	燕市	2021年	
54	下村工業株式会社	三条市	2022年	
55	ナミックス株式会社	新潟市	2022年	
56	株式会社越後交通鉄工所	長岡市	2022年	
57	株式会社三條機械製作所	三条市	2022年	
58	株式会社飯塚鉄工所	柏崎市	2022年	
59	新潟太陽誘電株式会社	上越市	2022年	
60	社会福祉法人桜井の里福祉会	西蒲原郡 弥彦村	2022年	
61	社会福祉法人見附福祉会	見附市	2022年	
62	新潟信用金庫	新潟市	2022年	
63	国立大学法人上越教育大学	上越市	2022年	

64	株式会社リーフアント	新潟市	2022年	
65	シーイーシー新潟情報サービス株式会社	新潟市	2022年	
66	刈共株式会社	刈羽郡 刈羽村	2022年	
67	株式会社田中組	新潟市	2022年	
68	株式会社羽生田製作所	南蒲原郡 田上町	2023年	
69	株式会社雪国まいたけ	南魚沼市	2023年	
70	株式会社神子島製作所	燕市	2023年	
71	柏崎信用金庫	柏崎市	2023年	
72	株式会社ダスキン鈴木	村上市	2023年	
73	石本酒造株式会社	新潟市	2023年	
74	株式会社本間組	新潟市	2023年	
75	株式会社イエスト	新潟市	2023年	
76	株式会社笠原建設	糸魚川市	2024年	
77	株式会社東陽理化学研究所	西蒲原郡 弥彦村	2024年	
78	株式会社北本建設	新潟市	2024年	
79	坂井建設株式会社	長岡市	2024年	
80	株式会社マルス	新潟市	2024年	
81	株式会社ニイガタマシンテクノ	新潟市	2024年	
82	株式会社三ツ葉パーツ	新潟市	2024年	
83	株式会社栗山米菓	新潟市	2024年	
84	株式会社コメリ	新潟市	2024年	
85	ダイニチ工業株式会社	新潟市	2024年	
86	株式会社ウオロク	新潟市	2024年	
87	コスモ建設株式会社	新潟市	2024年	
88	株式会社ナルサワコンサルタント	新潟市	2024年	
89	株式会社テレビ新潟放送網	新潟市	2024年	
90	キャノンイメージングシステムズ株式会社	新潟市	2024年	
91	吉田金属工業株式会社	燕市	2024年	
92	株式会社テック長沢	柏崎市	2024年	
93	日鉄工材株式会社	上越市	2024年	
94	株式会社アルゴス	妙高市	2024年	2024年
95	株式会社ウイング	新潟市	2024年	
96	株式会社イシイコーポレーション	北蒲原郡 聖籠町	2024年	
97	マコー株式会社	長岡市	2025年	
98	医療法人社団 内野整形外科クリニック	新潟市	2025年	
99	有限会社菅原電気工事	胎内市	2025年	